

2012年  
1月号

# Mini-WAN

～三河港湾事務所だより～

国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所発行(No.54)



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

## ☆CONTENTS☆

### ■巻頭コラム

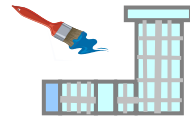
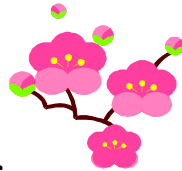
#### ○新年のご挨拶

### ■最近のトピックス

- 豊橋技術科学大学院生が三河港防波堤を見学
- 豊橋技術科学大学で防災・日本再生シンポジウムを開催
- トヨタ自動車 東三河懇話会を開催
- 国際自動車コンプレックス協議会主催の記念講演会を開催

### ■お知らせ

- 三河港の情報発信基地「カモメリア」のペイントデザイン完成
- 平成24年潮位表をホームページにアップしました



## ☆巻頭コラム☆

### ○新年のご挨拶

### 三河港湾事務所長 平井 洋次

新年あけましておめでとうございます。本年も職員一同よろしくお願ひします。一年前にこのコラムを書いているときには、まさか東北で大震災が起こるとは思ってもおりませんでした。地震がきても東海地方という意識でした。

大震災からまもなく一年が経とうとしています。日々の暮らしの中で、どのくらい被災地のことを意識しているでしょうか？震災以外にも台風による被害、あるいは円高による経済的なダメージや、あるいは個人を取り巻く様々な環境などに追われて、つい忘れがちな気がします。

まだ復興はこれからであり、東北の復興なくして日本は形作られていかないのですから、しっかりと、復興まで気にかけていきたいと思ひます。

今年は辰年です。辰（龍）ということで伸びゆくイメージがあります。毎年、「今年こそは、今年こそは、」と言っておりますが、本当に今年こそは、天高く昇っていくような年としたいです。まずは希望を胸に、そしてポジティブに進んでいきたいと思ひます。



### 「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル



国土交通省中部地方整備局

三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野心頭町1番地1  
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

E-mail [info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp](mailto:info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp)



おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。

## ☆最近のトピックス☆

### ○豊橋技術科学大学大学院生が三河港防波堤を見学

1月30日、豊橋技術科学大学の大学院生の皆さんが「水圏防災システム論」という大学講義の一環で三河港見学を訪れました。

当日は天候に恵まれ、穏やかな波の中、三河港内を港湾業務船で見学していただきました。見学は船から三河湾を眺めるだけではなく、実際に防波堤の上に乗れり、当事務所職員からの説明を受けました。今回は波が穏やかだったこともあり、防波堤の効果を実感していただくことは出来ませんでした。大学院生の皆さんからはたくさんの質問があがったり、写真を撮ったりと、有意義な見学をしていただけたようです。



熱心に話を聞く学生の皆さん

### ○豊橋技術科学大学で防災・日本再生シンポジウムを開催



講演を行う平井所長

12月2日、豊橋技術科学大学で「企業防災を軸とする安全安心な地域づくり」をテーマにシンポジウムが開催されました。このシンポジウムでは企業の方が自社の防災への取り組み事例を報告されたり、大学教授が防災に関する研究を発表されたりしました。当事務所の平井所長は、事例報告の1つとして「三河港のBCP」をテーマに講演を行いました。その中で、「三河港はこれまで高潮での浸水はあっても、津波での浸水は無いという認識でしたが、3月11日の東日本大震災以降、津波での浸水もあり得ることを認識する必要があります。」と述べました。

### ○トヨタ自動車 東三河懇話会を開催

12月1日、ホテルアソシア豊橋でトヨタ自動車東三河懇話会が開かれ、トヨタ自動車田原工場を中心とした関連会社約80社の方が参加されました。

平井所長は、「三河港の現状と震災対応について」をテーマに講演を行い、三河港の現状や東日本大震災の各港湾の被害状況などを説明しました。また、先月第2回目が行われた三河港地震・津波対策検討会議についても触れ、この検討会議で策定される基本方針では防災・減災目標の明確化が挙げられていることを述べました。講演中はプロジェクタに映されたスライドをカメラで撮影されるなど、皆さん熱心に講演に聴き入っている様子でした。



参加者多数の会場の様子

### ○国際自動車コンプレックス協議会主催の記念講演会を開催



伊藤海岸防災企画官の講演

12月7日、国際自動車コンプレックス研究会が主催する記念講演会において、国土交通省港湾局の伊藤海岸防災企画官が「わが国の港湾における防災対策」と題して講演を行いました。

東日本大震災での被災・復旧対応状況から、現在検討している津波対策について説明しました。また、人口・資産が集積する港湾における高潮対策についても言及されました。

講演後の傍聴者からの質問の多さから、災害対策の注目度の高さが伺えました。

## ☆お知らせ☆



### ○三河港の情報発信基地「カモメリア」のペイントデザイン完成

12月3日、豊橋市役所は、三河港神野ふ頭にあるポートインフォメーションセンター「愛称：カモメリア」において、外壁ペイントデザイン完成式典を開催しました。

カモメリアは、三河港を広くPRすることを目的に、平成17年7月に開館し、小学生の校外学習を始め、市内外の多くの人々に利用されていますが、今般、よりわかりやすく親しまれる施設とするため、外壁に描くデザインを募集したところ、一般部門で33点、小学生部門で29点の応募がありました。

ペイントデザインされた両部門の最優秀賞2点は、「三河湾を優しく包みこむカモメをモチーフにした作品」と「三河港の象徴である自動車船を中心とした作品」で、その他、優秀賞4点、特別賞1点の受賞者に対し、表彰状と記念品が贈られました。

最優秀賞の二人は、市内の小学6年生と中学1年生で、「発表の時はうれしくて泣いてしまった」等と語り、家族と共に受賞の喜びを分かち合っていました。

皆様もカモメリアへお越しの際は、是非この外壁をご覧ください。

今後も、様々な取組みを通じて三河港の更なる情報発信を図っていききたいと思います。



ペイントされたカモメリア外壁

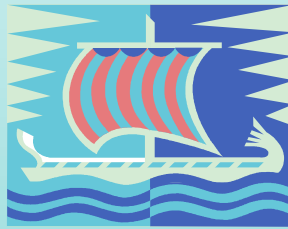
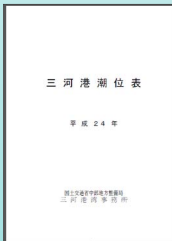


一般部門の最優秀賞（中学生が受賞）



小学生部門の最優秀賞

## 平成24年三河港潮位表をホームページにアップしました



潮位表には三河港における満潮と干潮の時刻と潮位、毎正時ごとの潮位が掲載されています。

釣りや潮干狩り等の参考に是非ご活用下さい。